



もうすぐ10月になります。日本やアジア、アメリカ大陸で大変な被害をもたらす災害が起こっています。台風の季節はあともう少しだと思いますが、ポーポキはみんなが安全で安心できると願っています。

Popoki's Hot News!



Coming soon!

第8回 ポーポキの「平和と健康ワークショップ」
日時：2018年10月20日 14:00~16:00
場所：兵庫医療大学 地域連携実践センター
くわしくは、9ページをご参照！

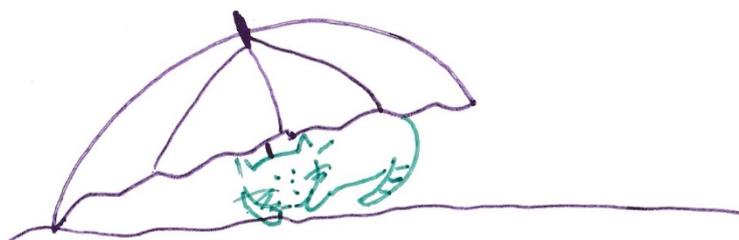


「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのみちこにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「身体がえらいときほど、一生懸命仕事をします。それができたら自然とにっこりしています。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



シフォンさんから学ぶ

灘チャレンジの翌日(7月2日)に神戸大学で大槌町のシフォンさんを囲んで、色々な話を聞かせていただきました。以下は学生からのコメントです。

安藤真子 「何かあったら、てんでんこだよ。
まず逃げること。引き返したくなくても、家族も約束したように逃げるから、彼らを信じる。」

渋谷真理 「大震災を経験した人の『1人で逃げなさい』という言葉は、とても重みがありました。命ある限り、希望あり。」

高月渚 ゼミのメンバーとのランチの後、シフォンさんと神戸大学六甲台キャンパスを一緒に回りました。シフォンさんは図書館の絵画や大理石の階段、ツバキの花など、色々なことに興味を持っていて、普段いるキャンパスなのにそんなことに全く目を向けていなかった自分に気づきました。またシフォンさんと話していると、初めてお会いする方なのになぜかとても和やかな気持ちになりました。そしてシフォンケーキはとっっっても美味しかったです!!

坂田渥美 「おとうさんは神戸にも来たことないから、キャンパスの写真を撮っていきたい」とおっしゃられたので、映える場所はあるのだろうかと少し戸惑いました。しかし、法学部の校舎や、図書館の前の木、図書館に飾られた大きな絵を見て、自身の経験や考えを述べてくださる彼女から、今まで自身の周りを見ることができていなかったことに気づきました。私の個人的な相談にも乗っていただき、「子どもを早く育てたら、残りの自分の時間を好きなことに使えるよ」とアドバイスをいただきました。

8月をもって活動をやめなくてはならないという事実に向き合いながらも、新しいことに挑戦しようとなさる彼女に勇気をいただきました。



8月6日にポーポキのワークショップをしました。その報告は「ポーポキ通信」156号に載っていますが、主催者からアンケートの結果がきましたので、ここに載せます。前回の報告と一緒にみていただければ幸いです。

理由

ねこのポーポキと一緒に平和を作りましょう

とても参考になった

- ・時間がないなら、ないなりに工夫していくところが現実的だった。
- ・様々なアクティビティを通して、仲間と共に平和について考えることができたから。
- ・色々な方法で自分の中の考えを確かめることができるのだなあと感じた。

- ・2学期から実際に実施してみたいと思う内容でした。
- ・言葉を使わず心を交わせる手段を色々学びました。
- ・言葉を使わない平和や安心・安全の表現方法や、人によって表現の違いがあって楽しかった。
- ・いつも、社会問題を知らない人と一緒にどのように考えていくかが分からなかったのですが、今回様々なワークショップを紹介していただいて、とても参考になりました。

①	とても参考になった	9
②	参考になった	6
③	あまり参考にならなかった	1
④	全く参考にならなかった	0
5	無回答	1
回答数		17

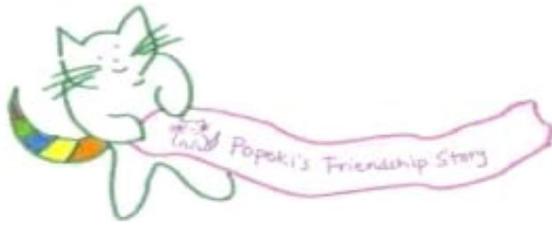
参考になった

- ・「安全？安心？」「平和？幸せ？」「元気？健康？」というワードが、セットではないかもしれないということ。
- ・自分たち主体で動く楽しさ。
- ・安全と安心の違いや、平和と暴力の関係などについて、音で表したり体を使って表現してみたら、頭で考えるだけではなく、色々な考え方ができるというヒントをたくさんいただきました。
- ・多文化理解、平和について根本を考えることができた。

あまり参考にならなかった

- ・平和について理論的なことをもっと学びたかった。

アンケートをまとめ、そして共有してくれた皆様に感謝！



Popoki's Interview

お相手：ありぱんにゃん

絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティー(ぽっとらっく)にて
開催日:2018年3月17日(土) 場所:灘区民ホール

前回に続きまして、3月17日に開かれました「ぽっとらっく」での講演者のインタビューです。今回はわたくしありぱんにゃんが自身の講演をふりかえっていきたいと思います。

まずは自己紹介を。

神戸大学大学院経済学研究科を卒業して、現在は大阪の小学校で先生をやっています。学生のころはいろいろなボランティアに参加しました。特に、東日本大震災が1回生のときに起きたこともあり、東北へのボランティアは何度も参加しました。今回の講演では、それらのボランティアの経験を「安全」と「安心」というテーマに沿って、話させていただきました。

どんなボランティアに参加した？

私をはじめ東北のボランティアに参加したのは、震災が起きた2011年のゴールデンウィークのときです。神戸大学のボランティア支援室が主催する岩手県の陸前高田市、大槌町へのボランティアバス派遣に参加しました。初めて行った被災地は津波の後の崩れた街の建物や瓦礫の山に圧倒されたのをよく覚えています。また、このときは余震も続いており、避難所にいる被災者の方々も不安でいっぱいだったと思います。このとき、私たちが行った活動には、瓦礫の撤去などのほかに「足湯」というものがあります。足をお湯につけてもらいながら手をさするのですが、そのときに被災者とボランティアは1対1に対話します。ボランティアの人は体と体を温めてほぐしながら、被災者の心も少しずつほぐしていきます。その会話の中で出てきた言葉を「つぶやき」といい、ボランティアはそのつぶやきを聞きながら、被災者に寄り添って活動を進めていきます。そのときも、地震や津波が起きたときの体験、避難所での苦勞、そういったつぶやきを私たちはたくさん聞くことができました。



(写真 <http://kobel17tohoku311bus.web.fc2.com>)

他には、どんなボランティアに参加した？

同じ2011年の夏には、畿央大学が主催している「心と体のストレッチ！のびのびキャンプ2011」に参加しました。その活動では、福島県の避難所にいる子どもたちを栃木県に招待して、一緒にキャンプをしました。一番印象に残っているのは、ある晩、自分がいない間にペアを組んでいた子どもが友だちとケンカしたことが原因で、テントを飛び出したことです。幸いすぐに見つかったのですが、同じようなケンカや駄々は他のテントでもたくさんありました。その晩のミーティングで、ある先生が「子どもたちがわがままを言っている」と泣いていました。ここに来ていた子どもたちはみんな、避難所で普段から思う存分遊べなかったり、弟妹のお世話をしていたりするような子どもばかりだったのです。子どもが安心して、自分のあるがままの姿を見せていたことに、その先生も感動したんだと思います。結果的に、子どもにとっても僕らにとっても、たくさんの思い出ができたキャンプでした。



(写真 <http://www.kio.ac.jp/information/2011/10/post-421.html>)

ポーポキとは？

震災が起きてから、ずっと参加しているのが、岩手県大槌町を中心に行なっているポーポキ・ピース・プロジェクトの活動です。ポーポキの活動は「ポーポキ友情物語」を中心に進められています。長い布に描かれた絵には、なかなか言葉にできなかったことが描かれることがあります。亡くなった飼い猫の絵、激しい渦の絵、大槌町で行われる虎舞の絵、など様々な印象深い絵が今までも描かれました。思いを吐き出すことは、人の心をほっとさせます。また、絵が描かれた布は世界中のいろいろなところに持っていかれ、そこでまた違う人もその布に絵を描きます。大槌町で布を展示していると「へえ、そんなに遠くに…」とよく言われます。私たちは、そうやって被災地と世界のいろいろな場所の人たちの思いをつなげていく活動をしています。そうやってみなさんもいろんな人たちと繋がっているんだよ、ということ伝えていきます。



最後に…

私は今回の講演の冒頭で、児童養護施設に住む子どもを例に出し、「施設に住む子どもたちは安全かもしれないけど、安心なのだろうか？」と問いかけをしました。それは今働いている学校でそのような子どもたちと向き合うことで、「安全」と「安心」、どっちが欠けてもダメだと日々実感しているからです。大概のボランティア団体はお金もあまりありませんし、被災者に「安全」な空間を提供することは難しいです。しかし、少しでも被災者が「安心」できるように行動している活動は大きな意義があると思います。「安全」と「安心」、その2つは私の今後の活動の中でも大切にしていきたいです。

ポーポキの友だち **Yeninyan** と **Siwinyan** に会いました！

9月10日～21日、ろにゃんはインドネシアのジョグジャカルタ市で開催されたユネスコチェアサマープログラム「ジェンダー・脆弱性の視点から考える災害支援」に参加しました。土曜日に授業はなかったので、**Yeni** にゃんと **Siwi** にゃんにお会いできました！買い物、食事、そしてジョグジャのドライバーたちの技術に圧倒される楽しい一日でした。お二人からのメッセージは以下のとおりです。サマープログラムのレポートは次号にします。

にゃんのみなさんへ

Apa kabar?!

みなさんはうまく行っていて、そして元気だと願っています。

私は元気でしあわせ（そしてちょっと太った(笑)。）

ああ！もりにゃん、息子のご誕生、おめでとうございます！

最後に出席したポー会からもうはや一年になります。ポーポキやにゃんのみなさんに会えないのはさびしいですが、にゃんが共有するおはなしが聞けないのは一番さみしいです。

さいわい、ろにゃんとイエニにゃんとジョグジャで短いけれどすばらしい再会ができました。

買い物に行き、一緒にランチを食べて、そして車を駐車するのに冒険までしました ☺



ジョグジャ市郊外のマッシュルーム専門店「ジェジャムラン」でお昼ご飯

(写真：イエニにゃん)

神戸大学での研究時代、私は安心して家族をあまり寂しがらないように、ポーポキヤにゃんのみなさんは暖かい友情を与えてくださいました。だから、みなさんありがとう！テリマカシ。私たちは遠く離れているけれど、私たちの暖かくて強い友情が永遠に続くように願っています。

みなにゃんは、いつまでも元気でしあわせでありますように。

Siwinyan.



元気なにゃんたち、こんにちは！ Semangat Pagi ... インドネシアからごあいさつ！

数日前にジョグジャでろにゃんと Siwi nyan に会いました。私たちの小さな再開で、ポーポキの活動の思い出やポーポキの友だちに会いたいことなどを話しました。ろにゃん、Siwi nyan と私は一緒にいて、とても楽しかった。次回は三人だけではなく、みんなにゃんと一緒に会いたいです。それまではお気をつけて！ ☺

Warm regards,
Yeni nyan

PS: インドネシアは雨季です。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 124

今月のテーマは、気持ちよくストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、姿勢よく片足立ちをしましょう！右も左もしてみてくださいね。
3. 次は、ダウンドグの姿勢です。手と足と地面につけて、体をVの字に！
4. では、その姿勢で右足を上げて……。左足を上げて……。しっぽをあげて……。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：10月30日 19:00～ 灘薬剤師会(JR六甲道すぐ)

10月20日 14:00～16:00 ポーポキと一緒に平和と健康を考えるWS@兵庫医療大学
次ページをご参照！ 子どもも歓迎します！

11月17日 「ポーポキと一緒に平和を考える」第31回被爆者と区民の交流セミナー、杉並光友会(東京)

12月 ポー年会！

1月13日 ポーポキと安全・安心を考えるイベント(予定)

2月9日～ ポーポキ in 大槌町！(予定)

ポーポキの友だちから

新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』(日英版) エピック
2017年

兵庫医療大学 地域交流プロジェクト *8th Peace and Health
Workshop @HUHS*

ポーポキピースネットワーク

第8回ワークショップ 「健康って、なに色？」

Workshop: "What color is Health?" @ Hyogo University of Health Sciences



あなたも 平和のねこと一緒に
健康と平和について
感じたり、考えたりしませんか？

平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

あなたの健康づくりは、なに色？みんなで一緒に考えてみよう！！



スケジュール Program

- 
- 13:30 受付 Registration
 - 14:00 「ポカ」タイム Poga ※ポカ：ポーポキのヨガ
 - 14:05 ワークショップ①「ポーポキ、健康って、なに色？」
Workshop 1: Popoki, what color is health?
 - 14:30 散策して平和と健康、元気、安全・安心を探そう *雨天は室内で決行
Walk outside and look for peace and health, genki, safety and relief. *It will be held indoors if rainy
 - 15:10 ワークショップ②「あなたの健康のづくりは、なに色？」
Workshop 2: What color is your efforts for good health?
 - 15:50 まとめ、発表 Conclusion, presentations
 - 16:00 解散 Dismissal

日時 2018年10月20日(土曜日)

14:00~16:00

場所 兵庫医療大学 地域連携実践センター

対象 どなたでも参加できます。Open to

定員 30名 30 participants

会費 100円

申込方法 FAX(裏面)にてお申し込み下さい。Registration: Fax (see the reverse side)

問合せ先 兵庫医療大学 地域連携実践センター HUHS Community Outreach Center

電話 080-6204-8793(受付時間:平日9時半~16時)

担当者 兵庫医療大学薬学部 桂木聡子 For information contact Satonyan



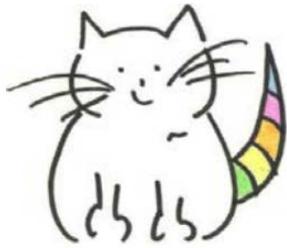
Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしまど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！」<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19（伝える1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（レベッカ・ジェニスン）p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8 10



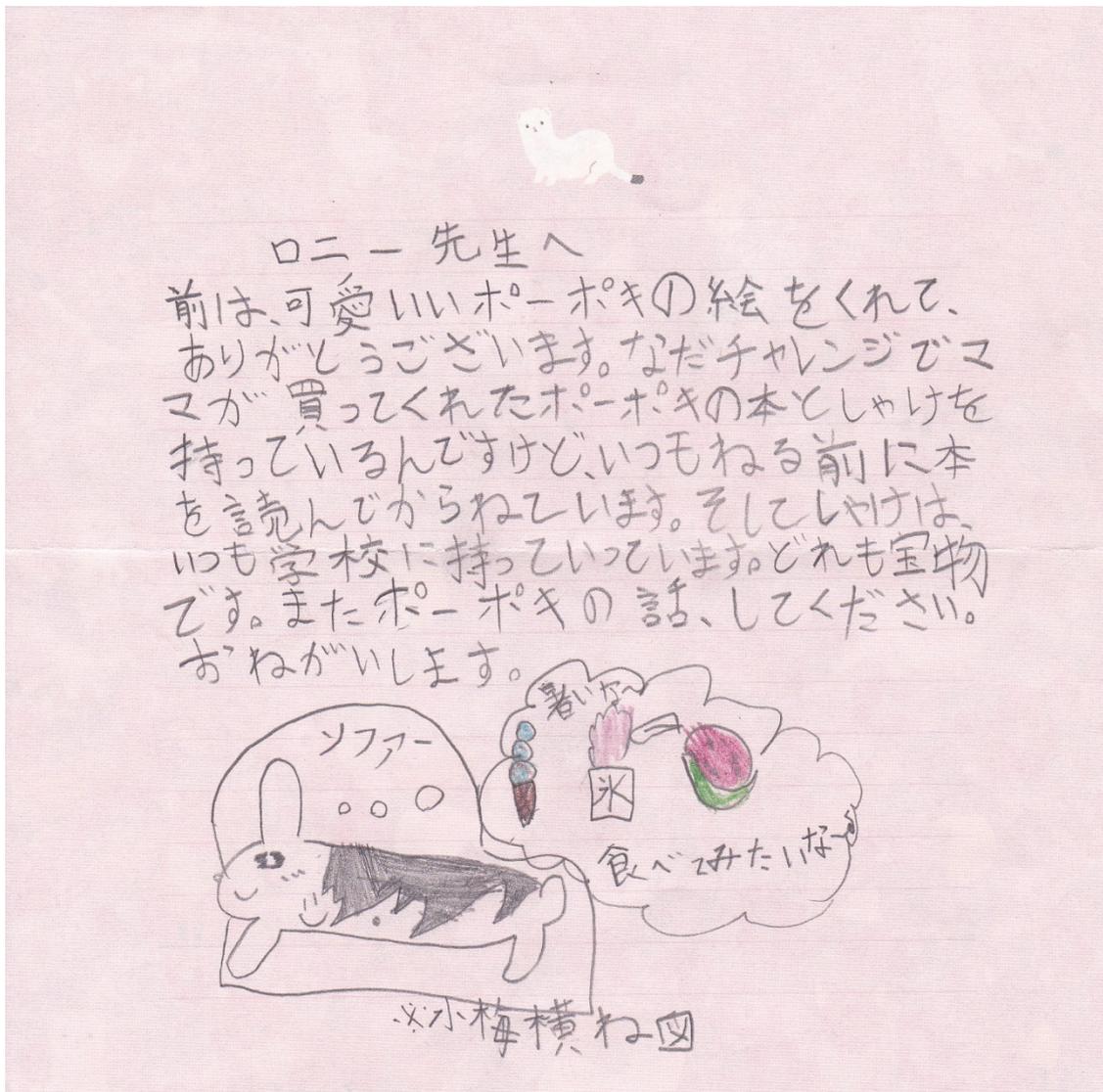


私にとってポーポキ

しおりにゃん

いただいたお手紙を共有させていただきます。とてもうれしい内容です。

しおりにゃん、ありがとう！



ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!